①病院環境データ

(大分県)県立病院(2008年) 病院名

病床数 【一般病床】514床【療養病床】0床【結核病床】0床【精神病床】0床【感染症病床】6床

患者数 【1日平均入院患者数】467人【1日平均外来患者数】849人【推計退院患者数】11,756人

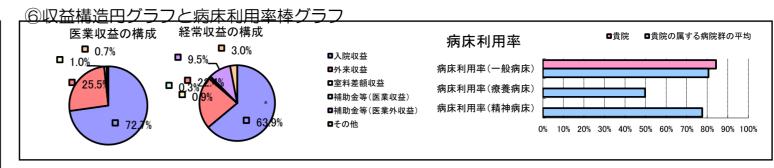
医療従事者数 【医師数】76人【看護人員数】374人【医療技術員数】58人【事務職員数】37人

市区町村データ 大分市

【人口総数】462,317人【65歳以上人口】81,479人【高齢化率】17.6%

【可住地当たり人口密度】1,898.2人/km 【可住地面積】243.6km

【一般病院数】43施設【一般診療所数】376施設【医師数】1,052人



欠損金額

庆当たり償却資産

1床当たり償却資産

額(取得価額)

50

40

30

流動資産回転率

②病院群類型と経営指標ハイライト

-50

30

職員1人当たり総

人件費*

労働生産性

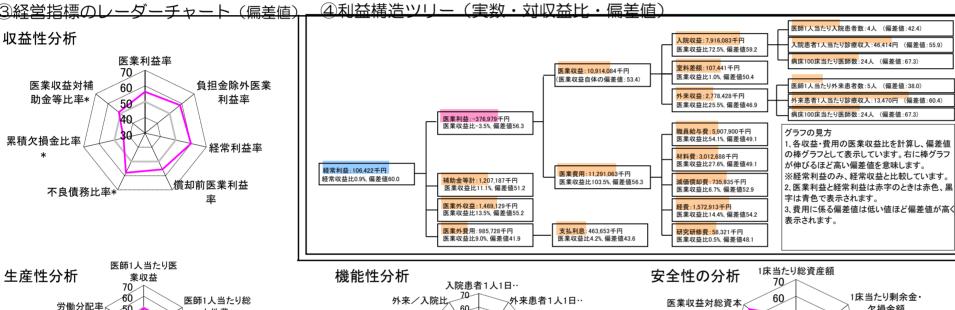
人件費*

職員1人当たり医

業収益

【貴院の属する病院類型】 地方大規模病院グループ(可住地当たり人口密度187.2~2.145.9人/k㎡かつ、一般病床350床以上) 【高い偏差値を示す指標】病床100床当たり医師数、医業収益対総資本、職員1人当たり医業収益 等

【低い偏差値を示す指標】職員1人当たり総人件費*、医師1人当たり外来患者数、外来/入院比 ③経学指標のレーダーチャート (偏差値)



医師1人当たり入・

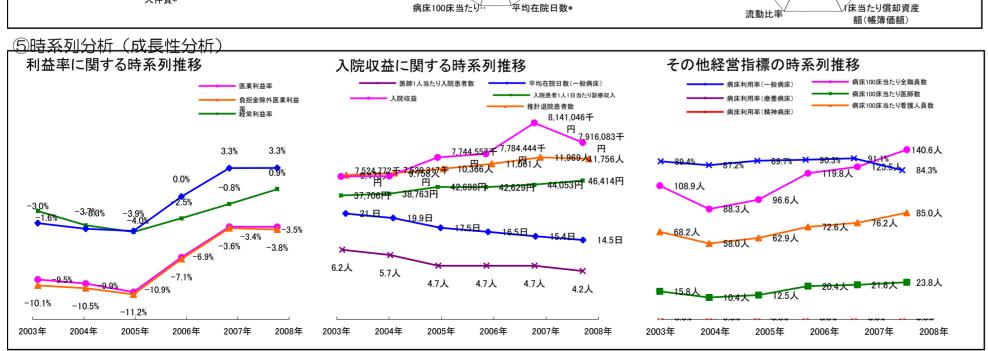
医師1人当たり外・

推計退院患者数

看護人員/医師

病床100床当たり

病床100床当た



⑦経堂指標分析(平均値・参昭値・偏差値) 収益性分析 貴院 貴院の属する病院群の平均 偏差值 医業利益率 -3.5%-8.5%56.3 負担金除外医業利益率 -3.8%-10.9%58.5 経常利益率 0.9% -4.1% 59.9 僧却前医業利益率 3 3% -0.7%55.6 不良債務比率* 0.0% 12.5% 58.0 累積欠捐金比率* 86.8% 61.4% 44.0 医業収益対補助金等比率* 21.2% 22.8% 51.2 経常収支比率 100.9% 96.3% 60.1 生産性分析 医師1人当たり医業収益 143,606千円 146,083千円 49.3 医師1人当たり総人件費* 77.736千円 78.390千円 50.4 職員1人当たり医業収益 19.630千円 17.211千円 60.7 9,233千円 職員1人当たり総人件費* 10.626千円 35.0 労働生産性 1.005.259千円 31,137千円 51.8 労働分配率 46.1 105.7% 116.2% 機能性分析 入院患者1人1日当たり診療収入 46.414円 42.727円 55.9 外来患者1人1日当たり診療収入 13.470円 11.043円 60.4 医師1人当たり入院患者数 4.2人 5.3人 42.4 医師1人当たり外来患者数 5.1人 8.4人 38.0 推計退院患者数 11,755.5人 53.5 9,955.8人 平均在院日数* 53.5 14.5日 15.4日 病床100床当たり全職員数 123.8人 56.6 140.6人 病床100床当たり医師数 23.8人 16.0人 67.3 病床100床当たり看護人員数 85.0人 77.7人 56.9 看護人員/医師人数比 4.9人 5.4人 48.2 外来/入院比 120 9% 160 7% 39.6 病床利用率(一般病床) 84.3% 80.6% 53.3 病床利用率(療養病床) N/A 49.8% N/A 病床利用率(精神病床) N/A 77.6% N/A 安全性の分析 1床当たり総資産額 60.477千円 47 4 38.039千円 1床当たり剰余金・欠損金額 -23,031千円 -15,818千円 45.4 1床当たり償却資産額(取得価額) 74,715千円 101,755千円 47.8 1床当たり償却資産額(帳簿価額) 51.666千円 72.405千円 47.8 流動比率 321.4% 333.2% 49.5

※青色は偏差値60以上、赤色は偏差値40以下、黄色は経常利益と関係が強い経営指 標を示します。*印の付いた項目は低い値ほど偏差値が高く表示されます。

3.1回

12.4倍

流動資産回転率

医業収益対総資本

3.6回

3.4倍

46.6

65.7